

令和8年度 学校教育目標

京都市立宕陰小中学校

◇◆◇ 学校教育目標 ◇◆◇

一人一人が輝き、ふるさとへの誇りと愛着をもった 人間性豊かな子どもの育成

<p>目指す子ども像</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 夢に向かって、自分から学ぶ子（学ぶ） ② 人を大切にし、協力できる子（つながる） ③ ふるさとを学び、未来をつくろうとする子（つくる）
<p>育成を目指す資 質・能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 夢に向かって、自分で考え学ぼうとする力（自律） ② 互いを大切にし、協力して課題を解決しようとする力（協働） ③ 地域に学び、よりより社会をめざそうとする力（未来創造）
<p>目指す学校像</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 一人一人が自分らしく学べる学校（自律） 児童生徒の学びを最適化し、基礎学力と主体性を育む。 ② 互いを認め合い、ともに学び合う学校（協働） 全校活動や合同学習を通して、コミュニケーション力や社会性を高める。 ③ ふるさととともに未来をつくる学校（未来創造） 地域の自然・人材を活かし、誇りと愛着を育む教育を進める。
<p>目指す教職員像 「チーム宕陰」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① つなぐ教職員（自律） 9年間の学びを一貫して見守り、全教職員が連携して児童生徒の成長を支える。 ② ともにつくる教職員（協働） 一人一人の理解や特性に応じた個別最適な指導を行い、協働的に学び合える環境をつくり、社会性を育む。 ③ 学び続ける教職員（未来創造） 教育課題に向き合い、専門性を高めるために研修と自己研鑽を続ける。

◇学校経営方針◇

① 小中一貫教育の充実
9年間の学びを見通し、少人数とふるさとの環境を生かして、系統的で連続性のある教育課程を編成・実施する。
② チーム宕陰による組織的な学校運営
全教職員が日常的な情報共有を重視し、会議・研修を通じて共通理解を深め、学校運営に主体的に参画する。
③ 基本的生活習慣と規範意識の育成
「あいさつ」「時間」「言葉」の3つを大切にし、自他を尊重する心を育み、規範意識の定着を図る。
④ 教育DXを活用した個別最適な学びと協働的な学びの推進
ICTを生かし、指導の個別化・学習の個性化を進めるとともに、協働的な学びを充実させる。
⑤ 協働活動の充実
ふるさと学習、児童生徒会活動、宕陰太鼓などの活動を通して、仲間と協力し合い、心豊かに生きる力を育てる。
⑥ 教育課程の組織的運営
教科の専門性を生かし、カリキュラム・マネジメントに基づく教科横断的な学びを推進し、児童生徒の成長を支える。
⑦ 教職員の専門性向上
校内外の研修や教職員同士の学び合いを促し、専門性を高め続ける組織文化を育む。
⑧ 家庭・地域・関係機関との連携強化
保護者・児童養護施設と協力し、個々の学力定着と社会性の育成を支援する。学校行事への参加や探究学習での協力を通して、地域の方とのつながりを深め、互いに支え合う関係づくりを図る。また、宕陰校便り・HP・自由参観・学校評価等を通して開かれた学校づくりを進める。
⑨ 架け橋プログラムの推進
未就学児との交流を通じて、地域から信頼され、選ばれる学校づくりを進める。
⑩ 働き方改革の推進
校務の効率化や勤務時間管理、健康面への配慮を進め、教職員が互いに支え合い、安心して力を発揮できる職場づくりを目指す。